

皆さん、こんにちは！山本とおるです。

11月に入り、とても寒い日が続いております。風邪など、健康には充分ご留意されまして、お過ごし頂きたいと思います。

お陰様で、区議会議員として1年6か月務めさせて頂きました。最近強く感じることは、私は区議を目指すにあたり、「墨田区には多くの課題があり、大きな変革期にある！」と申し上げました。中に入って仕事してみると、正にその通り！墨田区にとって、今が本当に大切な時期であり、“すみだの未来”は、この期にしっかりと道筋を作って行かなければなりません！！

毎日毎日、そんな思いと心構えで活動させて頂いております！

今後とも私へ、色々なご意見とご指導を賜ります様お願いを申し上げます。

☆ まずは **お知らせ** です！！

都合により、お休みしておりましたホームページを11月1日より、リニューアルして再開致しました！また活動の報告や気ままな話を、ブログで紹介させていただいております。お時間がありましたら、是非アクセスしてみてください。

☆URLは、<http://newsumida-tooru.jp/> です！

ご感想、ご意見をお待ちしております。よろしく願い致します。

活動報告

- ☆ 7月28日から30日まで、秋田市、盛岡市を自民党で視察しました。
秋田市・・・全国学力調査、2年連続の好成績。教育委員会の学力向上の取組について
盛岡市・・・商店街の中の子育て支援施設。お祭りにも、施設として協力、参加。
- ☆ 9月11日の第三回定例会議にて、会派(自由民主党)を代表して、山崎区長に質問しました。私にとって、2回目の本会議質問であり、今回は代表質問という大役でした。
- ☆ 10月1日から3日まで、高松市、観音寺市を委員会として視察
高松市・・・行政への外部評価導入。市の新規施策を第三者の委員に評価を受ける施策。
観音寺市・・・債権管理局が税金、公営住宅の賃料、保育所費等々の滞納分を管理し積極的に回収に努めている。先進的な仕事ぶり、**職員のやる気**に感銘を受ける。
- ☆ 10月14日から10月31日まで(8日間)、平成19年度決算特別委員会が開催され、山本とおるも委員(32人中16人が委員会を構成します)として審議に参画し、各款別にわたって、毎日行政側へ質問しました。

*** 第三回定例会本会議・代表質問（9月11日）** 質問の要旨は、次の通りです。

1 「都区のあり方検討会」について…

都は、区への事務事業(仕事)の移管を進めているが、同時に23区の再編の議論を進展させようとしている。慎重に考えるべきであり、時期早尚ではないでしょうか？

2 ガバナンスについて…

- * 町会、自治会との協働を重視し、区が率先して若い世代の参加を頂く努力をするべき…
- * 信頼のおける、NPO など、コミュニティー・ビジネスの活動を取り入れる行政運営について…
- * ガバナンス条例の制定にあたっては、検討会でしっかりと議論し進めるよう求める。

3 やさしいまち宣言と「環境区宣言」について…

- * 地球規模の環境問題が叫ばれている今、区は『環境先進区』の宣言をすべし…
- * 子供達の思い出が詰まる[旧あわの町]、“すみだまつり”の際、毎年人気ブース出展の現鹿沼市の豊富な自然環境と連携し、改めて友好協定を結ぶ機会である。
- * 環境ふれあい館の計画構想について…多くの来館者を見込める魅力ある施設となるか？運営の主体は？ 収支バランス、採算性に十分配慮し誤りなき計画とするよう進言

4 『東京スカイツリー』と空港新線について

- * 9月7日の新聞で、成田一羽田を1時間で結ぶ新線の構想が報じられた。
- 更なる来街者も見込まれ、国際観光都市としての心構えと準備、宿泊施設の整備が必要！
- * 駅前の景観について、京成電鉄にも協力を求めるべき。(京成本社の形態、美観の改善)

*** 企画総務委員会（9月25日）** 発言内容

◎ [墨田区公共建築物耐震改修計画](案)が公表されました。

耐震化率が、9月1日現在 一般区民施設69.0%、小中学校65.7%、幼稚園57.1%
平成23年度末までに小中、幼稚園を100%、区民施設を27年度末までに完了する計画。

その為の経費が、23年度まで**106億**、24～27年度で**34億**、合計で**140億**必要となります。

(* 移転費やその他工事費は除く)

今までにもっと計画的に進めておけば…という話もありますが、この際は特に教育環境の整備には、しっかりと前向きに対応しなければならない。

財源のうち国庫補助金が23年度までに13億弱に過ぎず、区の負担の増大が想定されます。

今日を一つの機会として、新たな財政需要の増大、出現により、今後の本区の財政状況を見直す必要があるのではないか？ (今後5年間の財政推計の作成を依頼しました…)

- ひとこと…
- ① このような時の為に、公共施設整備基金(区の貯金・蓄え)が必要だった…●
 - ② もっと早く耐震化率を公表させておくべきであった…●
 - ③ 今後不景気により、もっと緊急的な財政出動も考えられる…● 等々

議員として、区に対し指摘や提言することの重要性を改めて認識する機会となりました。

＊ 平成19年度決算特別委員会（平成20年10月14日～31日）

＊

一般会計歳入929億、実質収支額＋約32億で4年連続の黒字決算。単年度の決算としては良好な内容であるといえます。

国保、老保医療、介護保険の各特別会計もそれぞれ良好な決算であります。

特別区債発行残高 335億（区の借金 5年後に272億に減と推計）20年3月31日現在
基金残高 95億（公共施設整備基金59億、財政調整基金36億の合計）
（基金残高は23区中で最下位であり、5年後は59億が35億に減ると推計されました…）

山本 とおる 主な質問

① 財政推計について…（歳入）

アメリカ発の世界同時不況により、日本においても景気の減退、法人税収の減が見込まれるハズであり、都から交付される特別区交付金（区の歳入の42.5%を占める）は見込み違い、減収にならないか？ 区の財政状況は今後、厳しくなるのではないか？

② 区政運営にガバナンス（区民との協働）という手法を取り入れるのなら、是非、外部評価制度を導入すべきである。…庁内の内部評価ももちろん充実すべきだが、第三者の目も必要な時代（総務費）

③ 介護保険について…（介護保険特別会計）

不用額13億円の原因と検証をするべき。区における認定者は8000人。

介護施設の整備（特養ホーム待機者768人）や事業者の報酬アップ（ヘルパーが退職し不足）も重要であるが、次期の保険料に跳ね返る。

直近に控える介護保険料算定、第4次事業計画（21年度～3年間の）で、新たな軽減策や、サービスの充実を考えて欲しい！

④ 高齢者対策について…（民生費）

区の人口に対する65歳以上の方の割合は21.2%。平成27年には25%を超えると予測される。“お年寄りの方々が安心して暮らせる墨田区”へ、今から準備する必要がある。

⑤ 若手教員の指導支援について…（教育費）

希望に満ちた初任地が墨田区。しっかりと指導し、良好な環境のもと、いい教師を育てて欲しい。

⑥ 小学校の外国語活動について…（教育費）

学校現場は、現状も忙しく子供たちと向き合いながら毎日、努力をされている。そこへ新しく外国語活動という授業へ対応しなければならない。5.6年生の担任に負荷がかかり過ぎると予想するが、どのように考えるか？ 人の手立て（外国人講師や非常勤など）も必要ではないか？

⑦ 家庭教育について…（教育費）

パンフを作成したり、両親大学を開催すれば良いというものではない！ パンフを見ない親、自分の子供に関心の薄い親に届くよう、現場任せではなく、教育委員会として知恵をさげる必要がある！

- ⑧ 商工業融資の充実について・緊急保証制度 10・31～の準備と素早い対応。区の独自支援は？
- ⑨ 新タワー施設内の「観光プラザ」は、どのようなものか？（10億円の予算組み）
- ⑩ シルバー人材センターの運営に、区も力を貸すべき！（1700人の登録のうち就業者 1000人）
- ⑪ カラスのえさ漁り、低空飛行の解消・区内 8000ヶ所の収集所のうち 160ヶ所で認知されている。
- ⑫ 財団法人の制度改革は、本区でも、今から公益目的事業費率を高めてゆく準備をするべき。

* 質問の一部を紹介させていただきました。*

最終日に、山崎区長に、行政評価システムの機能について提言いたしました！

本委員会(19年度の実績)審議が予算として反映されるのが、早くて21年4月からであり、1年先送りすると22年からになる。前例踏襲の考え方を改め、継続、見直し、改善、廃止等の意思決定のスピードを上げないと、時代に合った行政運営はできない。

P(計画)D(実行)C(検証)A(改善)サイクルによる行政運営を掲げているが、現状はPとDの繰り返しに思える。是非とも庁舎内にシステムを確立させ、リーダーシップを持って、新しい発想のもとで、“墨田区の舵取り”に臨まれることを期待します。

以上、活動報告をさせていただきました。

このように議会の場で、いろいろな指摘、発言をしてまいりましたが、行政側にはそれなりの実状や考えもあるかと思えます。ただ区の職員の皆さんには新しい時代に即応する、“チェンジ”する絶好の機会であるとの認識を持っていただき、毎日の仕事に邁進されたい、と願うものです…

ひとりごと

アメリカ合衆国に、新しい大統領が誕生します！

バラク・オバマ氏です。年は47歳、なんと私と同じ年！（来年、丑年の年男…？）

かたやアメリカの大統領、わたしは24万区民の墨田区議会議員…でも、区(国)民の為に働く！という仕事に、なんら変わりはないと思います。

バラク'sアメリカが、苦境を乗り越え、どのように再生してゆくのか？確かに興味はありますが、私の仕事・「区民の声を区政に届け、安心して暮らせる街、住んで良かったと思える街、愛郷心を持っていただく街」の実現のために、これからも努力をしてまいります！

☆皆さんと一緒に“すみだの未来”を創っていきましょう！！☆

CHANGE（変ろう！） & YES WE CAN！（私たちは、できる！）

お知らせ

第4回墨田区議会定例会本会議は、11月26日から始まります。

『とおる通信』

お読み頂きありがとうございました！

墨田区議会議員 **山本 とおる**